

目次

【優貴保育園重要事項説明書】

- (1) 施設概要
- (2) 基本理念・方針
- (3) 職員体制
- (4) 保育時間
- (5) 休園日
- (6) 延長保育
- (7) 利用料等
- (8) 非常災害対策
- (9) 警備委託
- (10) 管轄消防署
- (11) 管轄警察署
- (12) 賠償責任保険の加入状況
- (13) 嘱託医
- (14) 嘱託歯科医
- (15) 顧問弁護士
- (16) 個人情報の取り扱いについて
- (17) 苦情解決窓口
- (18) 苦情解決の方法（苦情対応手順）

【優貴保育園入園に際して】

- (1) 登園について
- (2) 土曜保育
- (3) ならし保育
- (4) 給食
- (5) 入園に必要なもの
- (6) 保育園にてけがをしたり病気になった場合の対応について
- (7) 病後の登園時注意事項
- (8) 感染症の基準と対応について
- (9) 保育園でのくすりの取り扱いについて
- (10) 画像使用承諾のお願い

添付書類 ・ 感染症に関する「医師の意見書」「登園届」 ・ お薬依頼書

【優貴保育園重要事項説明書】

(1) 施設の概要

種別	保育所
経営主体	社会福祉法人 愛
施設名	優貴保育園
理事長	富永 しのぶ
園長	富永 しのぶ
開設年月日	平成 22 年 4 月 1 日
所在地	〒869 - 1102 熊本県菊池郡菊陽町原水 1462
連絡先	TEL 096-232-8977 FAX 096-232-8611
定員	90名 0歳児(ちゅうりっぷ) 9名 1歳児(ばら) 12名 2歳児(ゆり) 15名 3歳児(ひまわり) 18名 4歳児(もも) 18名 5歳児(すみれ) 18名
施設の構造	木造平屋造り
敷地面積	2956.96㎡
建物面積	733.23㎡

(2) 基本理念・方針

《保育理念》

～優しい心・貴い命～

乳幼児期は心身の発育・発達が著しく、人格の基礎が形成される大切な時期です。「子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する」を保育理念とします。

《保育目標》

- ・やさしい子ども
- ・元気な子ども
- ・たくましい子ども

《保育方針》 自然がいっぱいの園庭やぬくもりのある室内で、子ども達が乳幼児期にふさわしい活動を通して、望ましい未来のための基礎となる心情・意欲・態度を培うことを大切にします。

地域に愛され、大人にも子どもにも「安心して過ごせる・居心地のよい場」「共育ちの場」を目指しています。

(3) 職員体制

施設長	1名	主任保育士	1名
保育士	22名	看護師	1名
栄養士	1名	調理員	2名
事務員	1名	用務員	1名
保育支援員	1名	(※産休・育休職員含む)	

(4) 保育時間

保育標準時間 (月～土) 7:00～18:00

保育短時間 (月～土) 8:00～16:00

(5) 休園日

日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

国の定める休日

(6) 延長保育

◆保育標準時間(平日)

18:00～19:00

延長保育をご利用の場合は延長保育申請書を提出していただきます。

(緊急の場合は当日18:00までには必ず連絡をください。)

利用料金 1日 200円

月額(上限)2,500円

◆保育短時間

(平日) 7:00～8:00 16:00～19:00

(土曜) 7:00～8:00 16:00～18:00

利用料金 30分 100円

18:00以降は 200円

※延長保育料は翌月にまとめてご請求いたします。

(7) 利用料等

◆利用者負担（月額保育料） 町が定める利用者負担（保育料）

利用者負担額の切り替えは毎年9月です。

◆実費徴収 月刊絵本 350円～500円程度

副食費（3歳児・4歳児・5歳児） 3,500円

その他 園外保育等の実費

◆保育用品（個人使用） 実費

品名	金額
出席ノート・シール	800円
連絡帳	100円
おたよりパック	110円
自由画帳	270円
クレヨン	680円
クレヨン（ばら売り）	50円
はさみ	530円
ねんどケース	320円
ねんど	340円
ねんど板	510円
ねんどべら	220円
のり	270円
のり補充	50円
アルバム写真	500円
アルバム台紙	2,000円
お誕生カード	330円
えのぐ	1,180円
メロディオン	5,500円

品名	金額
カラー帽子	1,100円
スモック	2,400円
スモック用名札	50円
体操服	2,400円
体操ズボン	2,400円
体操服名札	50円
園児服	6,190円
園児服用名札	130円
園児服ボタン（1個）	110円

◆保護者会費 500円/月

※保護者会にて徴収

(8) 非常災害対策

防火管理者 富永 しのぶ
消防計画届出年月日 平成 29 年 4 月 10 日
避難訓練 毎月 1 回実施（年 2 回通報訓練）
避難場所

① 保育園周辺に第 1～第 4 避難場所

第 1：園庭内（園庭北側） 第 2：園庭東側職員駐車場
第 3：未満児保育室前中庭 第 4：杉並木公園スポーツ広場

② 広域避難場所 杉並木公園スポーツ広場

緊急時の連絡手段 火災受信機設置 火災専用受話器設置



(9) 警備委託

株式会社 キューネット

(10) 管轄消防署

菊池広域連合南消防署 熊本県菊池郡菊陽町原水 7-1

(11) 管轄警察署

大津警察署 熊本県菊池郡大津町室 676

(12) 賠償責任保険の加入状況

保険の種類 東京海上日動火災保険株式会社
園賠償責任保険・園児団体傷害保険
保険名称 「ほいくのほけん」セットプラン

(13) 嘱託医

医療機関の名称 医療法人 吉本会 よしもと小児科
医院長名 吉本 寿美
所在地 熊本県菊池郡菊陽町原水 1156-2
TEL 096-233-2520

(14) 嘱託歯科医

医療機関の名称 ひろ歯科クリニック
医院長名 樋口 博一
所在地 熊本県菊池郡菊陽町久保田 2803-1
TEL 096-285-3456

(15) 顧問弁護士

弁護士名 津留 清
所在地 熊本市中央区紺屋今町 2-1
津留山村法律事務所

(16) 個人情報の取り扱いについて

◆個人情報の保護について

当園職員は、園児・保護者等に関して知り得た個人情報については誓約書にもとづき発表、公開、漏洩、利用はしません。

◆園児及び保護者に係る個人情報については、以下の目的に必要な最小限の範囲内にて使用します。

- ①小学校・療育施設等への円滑な移行・接続のための情報共有
- ②緊急時に於ける病院その他関係機関に対しての情報提供

【優貴保育園入園に際して】

(1) 登降園について

登園・降園の際は、子どもの安全を守るため必ず職員に声をかけてください。職員・親子で「おはようございます」「さようなら」のあいさつをしましょう。門や玄関の開閉は必ず保護者の方が行ってください。

車での子どもの送迎にて駐車場をご利用される方は次頁の案内図に従って進行してください。

駐車場は送迎用ですので、長時間の駐車はご遠慮ください。

駐車場（駐輪場）内及び付近でのトラブル（事故・盗難）に関しましては保育園では一切責任を負いません。又、器物等の破損については運転者の責任として修理費等の弁償をして頂きますのでご了承ください。

ご近所の方や、他の車の迷惑にならないようルールを守っていただくようお願い致します。

・登園時の配慮

子どもの健康状態はしっかりと把握しましょう。

朝ごはんはしっかり食べてから登園しましょう。

おもちゃや食べ物はもって来ないようにしましょう。

・登園時間

子どもがスムーズに1日の保育をスタートできるように、必ず9時30分までに登園しましょう。

・欠席・遅刻するとき

当日9時までに「コドモン」アプリよりご連絡ください。

24時間受付が可能です。

9時以降は、アプリに加えお電話でのご連絡が必要です。

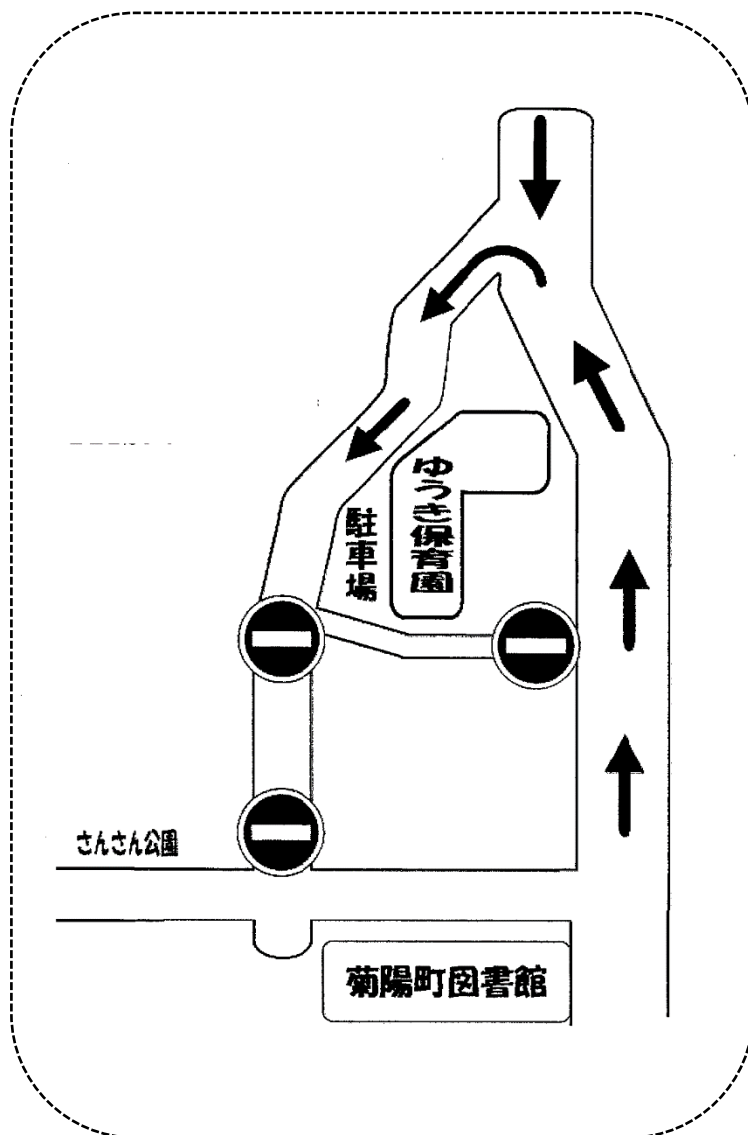
・出張等で保護者の方が職場を離れるとき

保育園からの連絡がとれるように、必ず移動先・連絡先を職員までお知らせください。

毎日の登降園では下記地図の矢印のように、園の北側から車は進入し
保育園の送迎用駐車場に止めてください。

進入禁止マークのところは、ご近所の迷惑になりますので、通らないように
ご注意ください。門の前や道路には駐車できません。駐車される際には、必ず
駐車スペースの白線のところに止めてください。

※駐車場内での事故や盗難には、一切責任を負いませんので各自で管理される
ようにお願いします。



(2) 土曜保育

土曜日の保育を利用される方は、給食の準備のため、土曜保育申込書を利用前月の月末または、利用される週の木曜日までに提出してください。土曜保育申込書の必要な方は、担任までお知らせください。ホームページや「コドモン」アプリよりダウンロードもできます。
※申し込み期日を過ぎるとご利用いただけません。

(3) ならし保育

子どもは、新しい環境に入ることにより不安でいっぱいになります。保育園という新しい環境に慣れて頂くためならし保育を実施します。保育開始初日は保育時間を1時間から始めて、子どもの体調・様子をじっくり見ながら徐々に保育園にいる時間を増やしていきます。子どもは個人差・年齢差がありますので、ならし保育はおおむね2週間ほど予定してください。
安心して保育園に通えるように、園と保護者の方で相談しながらゆっくりとならし保育を進めていきましょう。

(4) 給食

- ◆乳児 発達に応じてミルク・離乳食を準備します。
 - ◆1・2歳児 主食と副食、9時と3時のおやつ
 - ◆3・4・5歳児 副食、3時のおやつ
- ※お弁当箱にご飯だけ入れてお持ちください。
- ◆食物アレルギーをお持ちの子どもさんは、ご相談ください。

(5) 入園時に必要なもの

各年齢児に於いて入園時に必要な品物については、別頁の「用意していただくもの」を参照ください。

① 衣服について

・元気にのびのび遊べるように、綿素材で動きやすく上下に分かれていて汚れても問題のない衣服をご用意ください。

ワンピースやチュニックなどは遊具に引っ掛ける危険性がありますのでご遠慮ください。

・衣服のボタンやゴム等が取れたり伸びたりした場合は、すぐに直してください。

・持ち物にはどんな小さな物でもはっきりと、見やすく記名ください。

・季節や成長によって必要な物も変わってきますので、その都度お知らせ致します。

② お昼寝布団

敷き布団、毛布（冬期）タオルケット（夏期）を各自でご用意の上ご持参ください。敷き布団の大きさの目安は70cm×130cmくらいです。

2週間に一度お返ししますので、ご自宅での洗濯をお願いします。

※お布団レンタルのご案内

お昼寝布団のレンタルができます（お手入れ込み）

1組 1ヶ月 850円（税込み）

季節に合わせたお布団で月に2回の取替えです。

夏はタオルケット、冬は毛布を準備されます。敷き布団はサーナ綿を使用しておりますので有害なホコリやダニを大幅に減少させます。

おねしょ等で布団を汚されても弁償等一切ありません。

③ 保育用品等の購入

各クラスで配布します購入リストにて必要な物を購入ください。

又、お持ちの物などご使用の際は担任までご相談ください。

※各用品の単価については、2項のとおりです。

④ 用意していただくもの（クラス別）

0歳児（ちゅうりっぷ）

おむつ	常時 7 枚程度ストックしてください。1 枚ずつに名前を書いてください。（登園時にはいてきたおむつにも記名をお願いします。）
ビニール袋	汚れた服やタオルを入れます。 小さい袋を 1 箱持たせてください。
おしりふきタオル	排便後におしりを拭きます。（2～3 枚）
着替え・肌着	3枚以上。動きやすさ着替えやすさを考慮し、上下に分かれている服をお願いします。
哺乳瓶	ミルクを飲むお子さんは、哺乳瓶に使い慣れた乳首を付けてお持ちください。
ガーゼハンカチ	ミルクを飲むお子さんをご用意ください。1 日 3 枚以上必要です。
食事用エプロン	1 日 3 枚必要です。袖なしをお願いします。（名前は表側をお願いします。）
食事用タオル	1 日 3 枚必要です。清潔で乾いた物をお持ちください。離乳食が始まったお子さんの口や手を拭くのに使います。
バック	着替え・汚れ物等を入れます。大きめサイズをご用意ください。 ボタン・ファスナー等で口が止められる物にしてください。

1歳児（ばら）

おむつ	常時 7 枚程度ストックしてください。1 枚ずつに名前を書いてください。（登園時にはいてきたおむつにも記名をお願いします。）
ビニール袋	汚れた服やタオルを入れます。 小さい袋（MまたはLサイズ）を 1 箱持たせてください。
おしりふきタオル	排便後におしりを拭きます。（2～3 枚）
着替え・肌着	3組。汚れたときに着替えます。動きやすさ、着替えやすさを考慮した服をお願いします。
食事用エプロン	1 日 3 枚必要です。袖なしをお願いします。
食事用タオル	1 日 3 枚必要です。清潔で乾いた物をお持ちください。
バック	着替え・汚れ物等を入れます。大きめサイズをご用意ください。ボタン・ファスナー等で口が止められる物にしてください。

2歳児（ゆり）

おむつ パンツ	子どもさんが1日に使う分だけをお持たせください。 おむつ1枚ずつに名前を書いてください。
ビニール袋	汚れた服やタオルを入れます。 大きい袋を1提げ・小さい袋を1箱持たせてください。
着替え・下着	着替え（上下）・下着2組を巾着袋に入れて保育園に常備してください。動きやすさ、着替えやすさを考慮した服をご用意ください。
パジャマ パジャマ袋	午睡の時に着替えて寝ます。自分で着替えやすい物にしてください。週始めに持ってきて、週末に持ち帰り洗濯をお願いします。 10月より使用しますので、それまでに準備してください。
はぶらし コップ	週末持ち帰ります。はぶらしの毛先の確認などをされて、週始めに巾着袋に入れて持ってきてください。 6月より使用しますので、それまでに準備してください。
手拭タオル	ループ付きをお願いします。毎日持ち帰り洗濯してください。
バックまたは リュック	着替え・汚れ物・おむつ等を入れます。大きめサイズをご用意ください。ボタン・ファスナー等で口が止められる物にしてください。

3・4・5歳児（ひまわり・もも・すみれ）

着替え・下着	着替え（上下）・下着2組を巾着袋に入れて保育園に常備してください。動きやすさ、着替えやすさを考慮した服をご用意ください。
パジャマ パジャマ袋	午睡の時に着替えて寝ます。自分で着替えやすい物にしてください。週始めに持ってきて、週末に持ち帰り洗濯をお願いします。
上靴 上靴入れ袋	園ではなるべく素足で過ごします。靴下を履くときはご注意ください。（4月～6月、10月～3月）※3歳児は10月より使用
手拭タオル	ループ付きをお願いします。毎日持ち帰り洗濯してください。
はぶらし コップ	週末持ち帰ります。はぶらしの毛先の確認などをされて、週始めに巾着袋に入れて持ってきてください。
リュックサック	市販の物で構いません。大き目の物をお願いします。
お弁当	白ご飯を入れてお持たせください。（おかずは不要） 温蔵庫でお弁当を温めます。耐熱120度以上の物をご用意ください。お弁当包みは大きめの物をお願いします。（3歳児は巾着 4・5歳児はハンカチ）
水筒	なるべくコップ式の水筒をご用意ください。お散歩など園外に出るときにも持って行きます。ひも付きの物をお願いします。

- (6) 保育園にてけがをしたり、病気になった場合の対応について
- ◆すみやかに保護者の方に連絡し、原則として保護者の方に病院に連れて行って頂きます。
 - ◆発熱だけでなく嘔吐・下痢・発疹のほか、全身状態をみて日常と違う様子（食欲がない・元気がない・顔色が悪いなど）がある場合はご連絡させていただくことがあります。ご理解をお願いします。
 - ※痙攣等で早目の連絡を希望される場合は、担任までお知らせください。
 - ◆保護者の方に連絡がつかず、病院受診が必要と思われる場合は囑託医または近くの病院に連れて行く場合もあります。
 - 急を要する場合は、救急車を利用する場合があります。
 - 園より病院にお連れする場合、細心の注意を払いますが、途中での万一の事故発生については責任を負いかねますので、ご了承ください。
 - ◆緊急時の対応のため、緊急連絡先は明確に園にお知らせ頂き、出張等で平常の緊急連絡先と違う場合は必ず登園時にお知らせ頂くようお願いいたします。
- (7) 病後の登園時注意事項
- 病気・怪我などの回復後に登園されるときは、ご家庭での様子をご報告ください。また園で注意する点などもありましたらお願いします。
- (8) 予防接種・歯科治療（麻酔使用）後の登園
- 予防接種・歯科治療（麻酔使用）後は、おうちでゆっくりと過ごされてください。午後からの実施の場合、午前中の保育はできます。
- (9) 感染症の基準と対応について
- 感染症と診断された場合はお休みが必要となります。
- 添付の〔医師が記入した意見書が望ましい感染症〕
- 〔医師の診断を受け、保護者が記入する感染症〕を読まれて病院受診後、医師の登園許可を受け、届けを添えて登園してください。
- 保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようにお願いします。※インフルエンザなど感染力の強い病気が拡大している場合は、登園自粛や解熱後から登園までの時間を制限させて頂くこともあります。

(10) 保育園でのくすりについて

- ①主治医から乳幼児に処方された薬は、元来その保護者が与えるものとします。
- ②保育園では、やむを得ず保護者が与えることができないときに限り、所定の「お薬依頼書」を提出していただいた分について協力を致します。
- ③薬を依頼される場合は、当日分のみとし、日付・氏名・何の薬かを明記し提出をお願いします。「薬剤情報提供書」も一緒に添付してください。
- ④薬は必ず職員に手渡しをお願いします。声かけがない場合は服用できません。
- ⑤市販の薬・解熱剤・座薬・鎮静剤はお預かりできません。保護者の個人的な判断で持参された薬は対応できません。
- ⑥「熱が出たら」「咳が出たら」「発作が起こったら」「とびひになりそうだったら」というような症状を判断して与えなければならない場合は、その判断はできませんので、お断りいたします。
- ⑦長期間服用が必要な薬、特別な薬などの場合は、担任までご相談ください。
- ⑧受診の際は、保育園に在籍していることを医師にお伝えください。

※最近では、薬の処方に対して、薬を1日2回として保育園では飲まないようにして下さる医師の方もいらっしゃるようです。病院でもご相談ください。

※お薬依頼書は巻末に添付してあります。

(11) 画像使用承諾のお願い

園の紹介や活動の様子を、保護者の皆様をはじめ地域の皆様など多数の方々にご覧頂くためにホームページを作成しております。また、新聞やテレビ、町の広報誌などの取材を受けることもあります。つきましては、公開される外部メディアとホームページへの画像使用承諾を入園時に提出していただきます。

- (ア) 画像は園長監督の下、園教育活動以外の目的には使用しません。
- (イ) 個人名などの使用は致しません。(個人名は必要となった場合は事前に、保護者の方に承諾を得た上で使用します。)
- (ウ) 本承諾書は園外に出るメディア、ホームページを対象とします。
- (エ) 園内(児童・保護者・職員)に掲示、配布するものは対象としません。
- (オ) 承諾確認画像については、明らかに本人と分かるアップ画像を対象とします。集合画像等で顔の判別が困難なものは使用させていただくことをご了承願います。

【別添】

- ① 医師の意見書・登園届
- ② お薬依頼書
- ③ 土曜保育申込書

※以上の様式はコピーして使用されて構いません

～乳幼児突然死症候群（SIDS）から赤ちゃんを守るために～

保育園では以下のことに注意します。

- 赤ちゃんを 1 人にしません。
- 保育士が見守り、赤ちゃんの様子を定期的に観察します。
- 敷き布団は、固くて通気のよいものを使用します。
- 枕は使用しません。
- ベットまわりには、ひもやタオルなど危険なものは置きません。
- 定期的に健康診断を行い、子どもの発達の様子を把握します。
- 授乳において頂き、母乳を飲ませるようにお勧めします。

お母さん、気をつけて！

[あおむけで寝かせましょう]

赤ちゃんの顔が見えるように、あおむけでねかせましょう。

うつぶせ寝は危険です。

[たばこをやめましょう]

妊娠中の喫煙は、お腹の赤ちゃんの体重が増えにくくなりますし、呼吸中枢にも悪い影響を及ぼします。

[できるだけ母乳で育てましょう]

母乳育児が赤ちゃんにとって最適であることは、良く知られています。人工乳が SIDS を起こすものではありませんが、できるだけ母乳で育てましょう。

※SIDS（シズ：乳幼児突然死症候群）とは？

それまで元気だった赤ちゃんが事故や窒息ではなく、眠っている間に突然死してしまう病気です。日本では、年間 500 人～600 人前後の赤ちゃんがこの病気で亡くなっています。これは生まれてきた赤ちゃんの約 2000 人に 1 人の割合です。そのほとんどが 1 歳未満の乳児期の赤ちゃんに起きています。

原因はよく分かっていませんが、育児環境の中に SIDS の発生率を高める因子のあることが明らかになってきました。上記の 3 つの項目に気をつけると未然に防げると言われています。